

令和6年度 学校教育自己診断結果（教職員）

n = 47

全体の肯定%の変化 左から R4-R5-R6年度
(最上が95%、最下が55%、10%刻みの目盛り)

025/1/20 14:13

質問	肯定%	■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない	R 5年度	R 4年度	R4-R5-R6
1 教職員は、学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	89.4%	全体 45% 45% 6%	98.0%	91.5%	
2 貝塚高校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	93.6%	全体 70% 23% 4%	90.0%	100.0%	
3 教職員は、学校教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	78.7%	全体 19% 60% 19%	84.0%	76.3%	
4 各教科は、教材の精選・工夫を行っている。	91.3%	全体 39% 52% 9%	89.6%	96.6%	
5 教職員は、学習指導の方法や内容について、他の教科の担当者と話し合う機会がある。	60.9%	全体 17% 43% 35%	60.9%	67.2%	
6 教員がICT機器を活用している授業が多い。	97.8%	全体 57% 41% 2%	91.5%	89.7%	
7 生徒がICT機器を使用している授業が多い。	71.7%	全体 26% 46% 24%	72.3%	72.4%	
8 教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	89.4%	全体 43% 47% 11%	97.9%	93.1%	
9 学校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	86.7%	全体 44% 42% 13%	89.4%	89.5%	
10 生徒による問題行動が起こったとき、組織的に対応できる体制が整っている。	71.7%	全体 33% 39% 22%	83.7%	77.2%	
11 教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談することができる。	83.0%	全体 43% 40% 17%	85.1%	78.9%	

令和6年度 学校教育自己診断結果（教職員）

n = 47

全体の肯定%の変化 左から R4-R5-R6年度
(最上が95%、最下が55%、10%刻みの目盛り)

025/1/20 14:13

質問	肯定%	■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない	R 5年度	R 4年度	R4-R5-R6
12 学校は、生徒指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	84.8%	全体 39% 46% 11%	93.9%	94.7%	
13 学校は、進路指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	83.3%	全体 31% 52% 14%	97.8%	91.2%	
14 学校は、生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	87.0%	全体 41% 46% 11%	87.5%	86.0%	
15 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	86.7%	全体 44% 42% 11%	87.2%	89.8%	
16 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	82.6%	全体 28% 54% 15%	78.7%	72.4%	
17 職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意志疎通や意見交換の場として有効に機能している。	68.1%	全体 17% 51% 21% 11%	68.0%	66.1%	
18 日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	68.1%	全体 26% 43% 28%	84.0%	69.5%	
19 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	68.1%	全体 11% 57% 30%	76.0%	71.2%	
20 学校は、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	87.2%	全体 36% 51% 13%	86.0%	79.7%	
21 学校は、仕事のICT化を進める、時間外勤務を減らす等、働き方改革に取り組んでいる。	74.5%	全体 11% 64% 26%	72.0%	55.9%	
22 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	85.1%	全体 26% 60% 9% 6%	86.0%	84.7%	